

岩沼市民バス運行計画（案）に対するパブリックコメントの結果

1	①岩沼市民	<p>下記の3点の意見・要望があります。</p> <p>1) 朝夕のシャトルバスを平等団地も停車する路線に変更を希望します。</p> <p>2) 東西線を現状のように平等団地に停車することを希望します。</p> <p>3) AI バスの停留所に平等団地を追加することを希望します。(平等団地の住居者には、坂や階段が生活のネックです。デマンドタクシーより安価で利用しやすいと思います。)</p>	<p>1) 2) に関しまして、東西線は全路線の中で最も長い路線であり、現計画においても路線を1往復するには約2時間を要します。市としましても市民の要望に沿った運行計画としたい一方で、路線の短縮化を図りたいと考えております。「平等団地」停留所につきましては朝夕に東西循環線①②の便が複数ございますので、そちらをご利用ください。また、運行体系の見直しに伴い、時刻の見直しを行うことも検討してまいります。</p> <p>3) 「岩沼 AI 運行バス」はこの度の実証実験の結果を検証した上で今後の方針を検討してまいります。</p>
2	②利害関係者	<p>下記6点の意見・要望があります。</p> <p>1) 交通網が複雑化しているように思う。朝夕の通勤通学のフォローアップとしてシャトルバスを運行するのは良いと思う。</p> <p>2) 人口カバー率について P27 に「バス停から 500m 以内の公共交通圏域内に居住する人口割合は 97.0%」とあるが、高齢者や足の不自由な方からすると 500m では遠いのではないか。</p>	<p>1) 交通網が複雑にならないように検討してまいります。</p> <p>2) バス停を中心とした距離に関しては、様々な考え方があり、国土交通省などの資料でも 300~1000m の振れ幅がございます。一概に距離を決めることは難しいですが、岩沼市においては、今年度実施したアンケート調査から、約半数の高齢者が不便の感じない距離である 500m</p>

	<p>3) アンケート調査結果 P34 に「JR 岩沼駅東西口において市民バス利用者にアンケート調査票を配布」とあるが、意見が偏る可能性があるのではないか。(駅が絡まない利用者の意見も必要ではないか)</p> <p>4) デマンドタクシーは事前登録が必要で、出かける時と帰る時で本数も少ないため利用しづらいのではないか。</p> <p>5) AI 運行バスの実証実験を実施した市の中心部に本格導入の計画はないのか。</p> <p>6) アンケート調査結果の不满な点について「乗りたい時間帯に運行していない」「運行本数が少ない」等の意見があるが、AI 運行バスであれば現状出ている不满については解消できるのではないか。</p>	<p>(徒歩約 6 分) を採用いたしました。</p> <p>3) より現実に即した意見を得るために、現に利用している利用者からの声を確認しました。また、数多くの意見を確認するために駅を中心としてアンケート調査を行った外、バス車内アンケートや各地区からの意見を確認するために各町内会長へアンケート調査を行いました。</p> <p>4) デマンドタクシーは自宅から乗車することができるようにしているため、事前登録を必要としております。なお、利用本数の増便についても検討してまいります。</p> <p>5) 「岩沼 AI 運行バス」はこの度の実証実験の結果を検証した上で今後の方針を検討してまいります。</p> <p>6) そういった不満解消の可能性を確認するために「岩沼 AI 運行バス」の実証実験を行いました。なお、今後は運行結果をもとに検証を行います。</p>
--	--	---